

## 令和5年5月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

### 1. 清水港

輸出総額は1,642億円（対前年同月比3.2%の増加、比率ベース：2ヵ月連続の増加）、輸入総額は1,153億円（同2.3%の減少、2ヵ月連続の減少）であった。差引額は489億円（同18.7%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「自動車」、「無機化合物」などは減少したものの、「原動機」、「二輪自動車類」、「科学光学機器」などが増加した。

輸入は「大豆」、「その他の採油用種子」などは増加したものの、「液化天然ガス」、「金属鋳及びびくず」、「アルミニウム及び同合金」などが減少した。

地域別では、輸出は「EU」、「アメリカ」が増加、「アジア」は減少した。輸入は「アジア」が減少、「アメリカ」、「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,642億円	+3.2%	1,153億円	▲2.3%	489億円	+18.7%
	2ヵ月連続の増加		2ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 原動機	292億円	+28.4%	輸入	増加品目	(1) 大豆	45億円	3.7倍
		(2) 二輪自動車類	131億円	+16.7%			(2) その他の採油用種子	23億円	253倍
		(3) 科学光学機器	97億円	+15.2%			(3) 科学光学機器	22億円	3.4倍
	減少品目	(1) 自動車	6億円	▲65.8%		減少品目	(1) 液化天然ガス	60億円	▲47.3%
		(2) 無機化合物	10億円	▲45.8%			(2) 金属鋳及びびくず	28億円	▲46.7%
		(3) 紙類及び同製品	19億円	▲30.1%			(3) アルミニウム及び同合金	19億円	▲53.9%
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域増減	アジアが減少、アメリカ、EUは増加			

（参考）ドルレートは、135.31円（前年同月比4.8%、6.14円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

## 2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	13億円	+50.3%	43億円	2.2倍	▲30億円	2.8倍
	6ヵ月ぶりの増加		2ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	255百万円	7.2倍	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	360百万円	全増
		(2) 金属鉱及びくず	266百万円	+79.8%			(2) とうもろこし	1,394百万円	+9.0%
		(3) ポンプ及び遠心分離機	2百万円	+31.0%			(3) 織物用糸及び繊維製品	68百万円	48倍
	減少品目	(1) 無機化合物	31百万円	▲72.3%		減少品目	(1) パルプ	196百万円	▲49.6%
		(2) 有機化合物	2百万円	▲96.5%			(2) 無機化合物	—	全減
		(3) 写真用・映画用材料	232百万円	▲9.3%			(3) 金属製品	5百万円	▲55.7%
主要地域増減	アジアが増加、アメリカ、EUは減少				主要地域増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少			

## 3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	264億円	+17.7%	18億円	▲0.9%	246億円	+19.3%
	8ヵ月連続の増加		2ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	114億円	+28.5%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	688百万円	+68.0%
		(2) 二輪自動車類	20億円	2.1倍			(2) 調製石油添加剤	603百万円	+6.8%
		(3) 無機化合物	14億円	+66.1%			(3) プラスチック	66百万円	+72.8%
	減少品目	(1) 運動用具	3億円	▲62.1%		減少品目	(1) 有機化合物	140百万円	▲47.0%
		(2) 楽器	26億円	▲12.1%			(2) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
		(3) 電気回路等の機器	1億円	▲51.6%			(3) 無機化合物	7百万円	▲83.9%
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域増減	EU、アメリカが減少、アジアは増加			

## 4. 静岡空港

輸出入実績なし